



コハク
部族墮ち

コハク

今私は千空…科学というものを
めっぽう信じていてな

今更力だけが
全てなどとは思わん!

ん…? 貴様…誰だ?
見ない顔だな…

石神村出身の金髪碧眼少女…
常人離れした膂力と俊敏性で
男顔負けの戦闘力を持つている。
石神千空に自身と姉の命を救われてからは
科学王国の一員となり、
文明が滅んだ石の世界で
科学の発展に尽力している

がが
がが



バチューン

石の世界で栄えていた野生を生きる部族・ゴリラー族の男に見初められ処女を奪われ犯されたコハク…
力自慢の彼女だったが生粋の狩猟民族であるゴリラー族の男には手も足も出ず
ただなされるがまま嬌声をあげることしかできなかつた…
コハクは生まれて初めて自分がただの「牝」なのだと思感させられた

っ…
やっ…

バチューン

バチューン

しばらくしてコハクを助けに来た
千空たち科学王国の男たちは
ゴリラー族の男二人に全員殺された…
完全に「屈服」させられていたコハクは
その光景をただ見ていることしかできなかつた…

っ…

日々が経過し、自分を犯した男と結婚し
ゴリラ族入りしたコハク……
服を着ず、野外で生活していくうちに
肌は黒く焼け、族の二員の証である
白いボディペイントがよく映える。

ブルン

ブルン

ウハッ
ホッ

ガホッ
オッ

ゲオ
オッ
オッ
オッ

狩りと夫との交尾……ただそれだけの動物のような生活……
科学を発展させ、文明を復活させるはずの
彼女は野生に還った……

ゴリラー族の牝はひとたび孕むと狩りを全て夫に任せ妊娠と出産…そして子育てだけが生活の全てとなる…その循環を死ぬまで延々と繰り返す…

コハクは文明が滅んでからも石神村の間で継承され続けた文明の残り香…日本語を忘れ去りゴリラー族の間特有の動物の鳴き声のような言語を習得した…そして完全なる部族の一員となり名前という概念も消失した…

コハク…いや、コハクという名だった一匹の牝はこの後最愛の夫との子を20匹以上、休みなく産み続けゴリラー族の更なる繁栄の礎となった……

